

学校運営協議会だより

統合第5号

2020年7月10日発行

城山小・城山中 学校運営協議会

小中連携を目指して

発行責任者

城山小学校運営協議会長 進藤 丕

城山中学校運営協議会長 浜口 貴子



この度、私たちは城山小学校運営協議会会長ならびに城山中学校運営協議会会長に任命され、微力ではありますが委員の皆さんと一緒に与えられた任務を真摯に遂行したいと思ひます。城山小学校は地域運営学校の4年目となり「地域とともに未来を拓く コミュニティスクール」という学校運営スローガンに基づいて活動しています。

城山中学校は平成20年度から地域運営学校となっておりますが、両校は小中連携校として9年間の教育を見据えて課題や情報を共有しながら効果的な教育環境を構築していく所存です。学校運営協議会の基本姿勢は、「学校支援」を第一とし、児童・生徒の健やかな成長に資する施策を立案・遂行し、かつ先生方を支援し保護者の皆様の期待に応えられるよう活動していきます。城山中学校の委員は再任命され一部入れ替わりしました。

2020年度 学校運営協議会の委員をご紹介します。(任期：小学校委員残1年、中学校委員2年)

委員氏名	委員分掌	委員役職	備考
進藤 丕	小中兼務	(小)会長	NPO 法人八王子生涯学習コーディネーター会前理事長
浜口 貴子	小中兼務	(中)会長	(元)城山小・中PTA会長 主任児童委員
守屋 香里	小中兼務	(小中)副会長	(元)城山小・城山中学校PTA会長
金子 陽介	小中兼務	広報・書記	(社会福祉法人) 武蔵野児童学園施設長
岩澤 六夫	小学校	広聴・環境	(社会福祉法人) 路の会 理事長
梶原 宏樹	小学校	広報・書記	(前)元八二丁目消防団長 八幡神社権禰宜
小峰 貴美子	小学校	広聴・環境	民生児童委員
田島 千波	小学校	広報・書記	(前)城山小学校PTA会長
宮崎 豊彦	小学校	広聴	城山保育園 園長
角田 悟	小学校	学校経営	城山小学校 校長
※浅野 里恵子	中学校	広報・書記	式分方小・学校運営協議会会長
※小林 規予美	中学校	広聴	城山小学校PTA会長
清水 真人	中学校	広聴・書記	地域子ども家庭支援センター主査
橋場 満	中学校	広聴	(元)城山中学校PTA会長
※平澤 晶子	中学校	広報・書記	星槎高尾キャンパスセンター長
※乙幡 英剛	中学校	学校経営	城山中学校 校長

＜事務局＞

※印：新任委員

柴野 誠一	中学校	会議連絡・司会	城山中学校 副校長
堀合 葉子	小学校	会議連絡・司会	城山小学校 副校長
塩野 紀義	小学校	事務局補佐	城山小学校 学校コーディネーター

＜委員の抱負＞

守屋 香里

城山小・城山中 学校運営協議会副会長

「新しい生活様式」をあちらこちらで言われていますが、変化することは大人も子供もとても大変な労力でありストレスもかかります。

家庭だけではなく是非、学校や地域、みんなで共有し、この大変な時期を乗り越えていけたら嬉しいです。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。



金子 陽介

城山小・城山中 学校運営協議会委員

武蔵野児童学園の子供たちの多くが城山小学校と城山中学校でお世話になっております。子どもたちがこの地域でかけがえのない学校生活をすごし、友達をつくり、貴重な経験をし、社会へと羽ばたいていけるよう、微力ですがお手伝いできればうれしいです。施設としても何ができるのか、委員の皆様からアドバイスをいただきながら考えていきたいと思います。



岩澤 六夫

城山小 学校運営協議会委員

城山小地区子ども食堂「しろくまごはん」は、コロナウイルスのため残念ながらお休みになっています。どんな形なら再開できるのか学運協の皆様のご意見をいただきながら事務局の皆さんと話し合っていきたいと思います。環境担当として、ひのき工房の利用者さん達と小・中学校の花壇の草取りを続けていきたいと思います。



田島 千波

城山小 学校運営協議会委員

今年もまた皆さんと子どもたちを見守る事ができ、嬉しく思います。子どもたちは、それぞれの個性があります。一人一人しっかり見て、話を聞く事によってわかり合える事がたくさんあります。地域の皆さまとPTAで城山の子どもたちを育てていけたらと思います。今年最後の学運協活動となりますが、よろしくお願いします。



宮崎 豊彦

城山小 学校運営協議会委員

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応で、保護者の皆様、教職員の皆様には大変ご苦勞をされたことと思います。これからは、経験をしたことのない「新しい生活様式」の中での学校教育の大変さがあると思いますが、子ども達のために微力ですが委員を務めていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



小峰 貴美子

城山小 学校運営協議会委員

今年度も城山小・学校運営協議会の一委員として「子ども達が安心して過ごせる学校、安全で住みやすいまち」を意識して子ども達を見守り、協力していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



梶原 宏樹

城山小 学校運営協議会委員

令和2年、国内外において新型コロナウイルス感染症という未曾有の災害にみまわれ子ども達も臨時休校を始め様々な我慢の日常を強いられ不安な毎日を過ごしたことと思います。まだ予断を許さない状況とは思いますが城小生みんなが一日も早く元の生活に戻れますように心からお祈りし、微力ながら子ども達の見守りを続けたいと思います。



角田 悟

城山小 学校運営協議会委員（校長）

6月から、約3か月ぶりに教育活動が再開されました。子供たちの笑顔と話し声が校舎内に戻ってきました。改めて、学校という存在がどうあるべきかを見つめ直す期間でしたが、前年度以上に城山中学校との9年間の義務教育を見通した取組を、教職員全員で進めてまいります。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。



橋場 満

城山中 学校運営協議会委員

今年度も引き続き、城山中学校の運営協議会委員を務めさせていただきます。
元々は、重度・最重度の知的障がい者との仕事をしていましたが、児童虐待が社会で問題になり始めたころ、児童福祉の仕事に異動し、現在に至っています。私が城山中学校でPTA 役員をしていたころ、魚住弘隆氏と知り合い、「地域の子は地域の力で守る」ことの大切さを身をもって教えていただきました。少しでもお手伝いできればと思います。



清水 真人

城山中 学校運営協議会委員

昨年度から学校運営協議会の委員をさせていただきます、子ども家庭支援センター元八王子で 2 年目の清水真人と申します。日頃から、学校関係や関係機関の皆さま、地域の皆さまには大変お世話になっております。学校運営については知識も経験ありませんが、今年度もよろしくお願いいたします。



浅野 里恵子

城山中 学校運営協議会委員

今年度より委員をさせていただきます。息子たちが卒業後、18 年ぶりに城山中学校に戻ってまいりました。6 年前より、子育てをしてきた生活圏である式分方小学校運営協議会委員として活動させていただき、子どもたちにとって、「地域」の大切さをより感じます。少しでも地域の人と人を繋げることができればと思います。



小林 規予美

城山中 学校運営協議会委員

今年度、城山小 PTA 会長を務めることになりました。
地域の未来を担う子どもたちが、城山でのびのび生活ができるよう成長を見守り、支え、また地域と保護者の声を届け「学校・家庭・地域」の大切な橋渡し役としてお役に立てればと思います。



平澤 晶子

城山中 学校運営協議会委員

今年度より新しく委員となりました、平澤です。
子どもたちが安全に、安心して過ごすことのできる環境づくりのために、微力ながら尽力させていただきます。地域の皆さんと力を合わせて、子どもたちのために活動して行きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



乙幡 英剛

城山中 学校運営協議会委員（城山中学校校長）

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
昨冬の着任以来、地域の方々の「行動力」を何度も目にまいりました。
今回、教育目標「学ぶ 鍛える 思いやる」の先を見据えた姿として、校訓「自立・貢献」を掲げました。今後、自らに責任をもちつつ、他の人の役に立てることが一層大事になっていくと考えます。皆様のご支援を宜しくをお願いいたします。



<トピックス>

城山中学校の校章デザインは「カンアオイ」の葉をモチーフにしています。
城山中学校が建設される前は、この土地は山林で、カンアオイがあちこちに自生していたそうです。
カンアオイは冬でも葉が枯れないことから「寒葵」と表記され、ウマノスズクサ科カンアオイ属の植物で多年草です。10 月～11 月ころ根本に六角形の紫色の花（左）をつけるが、ほとんど増殖しません。
葉の模様が独特の斑なので昔から珍重されている。種を保存するため体育館西側の桜の樹付近に植えてあるので大事にしてください。（右側の写真）



城山小学校と城山中学校との9年間をつなぐ

「地域運営学校」が4年目に入りました！

平成29年度から、城山小学校が地域運営学校となり、城山中学校との9年間を結ぶ一小一中型の「地域運営学校」が始まりました。小中各学校運営協議会には、小中共通の委員さんが4名おり、年3回の合同協議会を開催しています。これにより、小中共通の課題意識の共有、決定した取組への素早い対応など、多くのメリットが生まれ、9年間の義務教育を見通した地域運営学校になりつつあります。

城山小中が、それぞれの目指す児童像・生徒像をもちながら、一貫した教育を行うことで、八王子に誇れる「城山っ子」を育ててまいります。

◎中学校の3年間の育ちは、小学校が土台です。

小学校では、土台をしっかりとつくります。今年度のキーワードは『進』と『健』です。まずは教職員が、子供一人ひとりの話にじっくりと耳を傾け、しっかりとした信頼関係を築く中で、自尊感情を育み、自信を持たせます。高学年を中心とした学校づくりを進め、低・中学年児童の子供たちに「あこがれの高学年」意識を持たせる中で、児童が児童を育てる雰囲気醸成します。進んで挑戦する意欲、面倒見のいい城山小児童を目指しています。新型コロナウイルス感染症に負けない城小っ子を育てていきます。



また、『自尊感情』の育みは、地域とつながった安全ボランティアの方々のふれあいや様々な地域の行事、PTAの取組もとても重要です。「あいさつ」がきちんとでき、素直な子供たちの育みは、地域と保護者のつながりの素晴らしさからくるものです。

中学校では、校訓として「自立・貢献」を掲げています。中学生は卒業後、自分の希望する様々な「社会」へ入っていくことになります。そのためには、一人一人が適切な判断に基づいた思考や表現ができることが大切です。「自立」は、自学自習や部活動、委員会活動、生徒会、学校行事など様々な場面で培われます。その力が備われば、自分の望む進路の方向へ、自信を持って進むことができます。また中学校では、「貢献」を大切にしています。クラスや部活動、学校行事とともに、城山スポーツフェスティバル、クリーン活動、オータムボランティア等、地域に根差した活動を通し、力を発揮できる場があります。中学時代の子供たちは、思春期真っ只中です。どの子も悩みます。心は様々な変化していきます。しかし、地域の方々の関わりがあれば、まっすぐに育まれていくはずです。



小学校と中学校の9年間をつなぐ。地域の方々に小中9年間の様子を見て学校支援をしていただく。地域の宝である子供たちの健やかな成長に、ぜひ皆様のお力をお貸しください。今後も「城山小・城山中地域運営学校」へご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



城山小学校長 角田 悟
城山中学校長 乙幡 英剛